

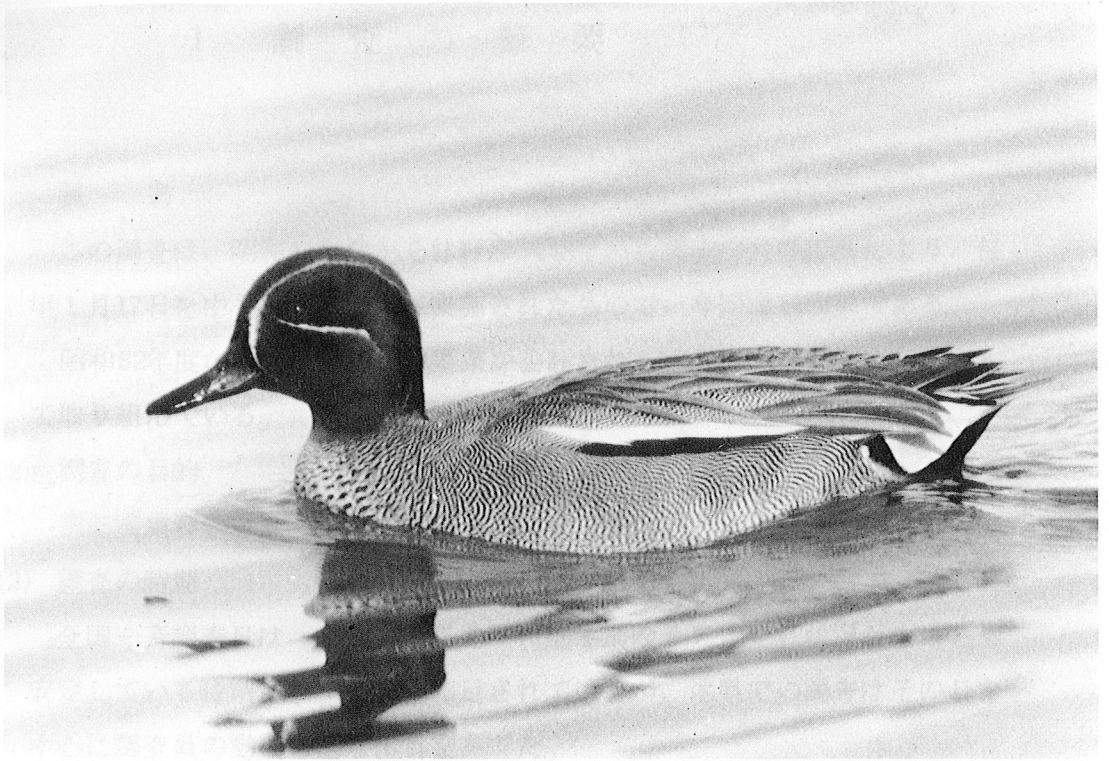
昭和 55 年度

ガンカモ科鳥類調査報告書

昭和 56 年 3 月

福 井 県

福井県内に渡来するカモ類



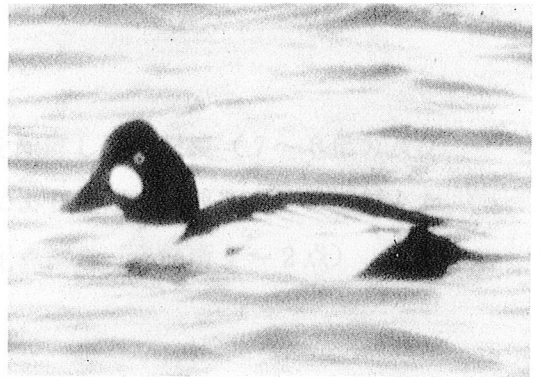
コガモ

(4) 調査地

調査地は福井県から指定された湖沼・河川、港湾等の狩猟制限区域等12箇所で実施した。(表1調査地)

(5) 調査の方法

調査は、各調査地に2～3名の調査員が、望遠鏡(25～30倍)を使用し、数回にわたって観察した。調査法は、調査地が狭い場合は、観察員が広い場合は望遠鏡を使用した。



ホオジロガモ



ミコアイサ

1 調査の概要

(1) 経過

この調査は、昭和44年度から林野庁（48年から環境庁）の指示により、毎年1月17日を中心に全国一斉に実施されたもので、今回は12回目である。

昭和52年度からは本会にその事業が委託され、本会の主要な調査事業として取り組んでいる。

(2) 調査の目的

別記実施要領参照

(3) 調査の時期

全国一斉調査日は、ガンカモ科鳥類の越冬期のうち、生息状況がもっとも安定している時期ということで指定されているが、本県での調査はその日を中心に調査員の動員可能な休日をあてた。

(4) 調査地

調査地は福井県から指定された湖沼、河川、港湾等の狩猟制限区域等12箇所で開催した。（第1図参照）

(5) 調査の方法

調査は、各調査地に2～4名の調査員を配置し、双眼鏡（7～8倍）及び望遠鏡（25～30倍）を使用し、数取器により種類別に数を克明に記録した。

調査法は、調査地が展望できるものは定点調査（各箇所1～2点）、範囲が広い場所は定線調査とした。

(6) 調査員

調査員は、ガンカモ科鳥類の識別力のある会員を責任者にあて、延24名がこの調査に従事した。

2 調査の結果

例年の調査は、その日の天候に左右されることが多く、本年は豪雪のため各調査地で悪条件の中で実施された。

その結果は、総数で 11, 253羽が確認され、種類数では、ガン類 1種、カモ類 18種であった。ただし、ガン類は上空通過もしくは旋回であった。

一部の調査地では、雪のため視界が悪く種の確認が困難であったが、不確実なものは集計数から除外した。

調査結果は、第 1 表に示すとおりである。

今回の調査結果について分析すると、例年のことながらカルガモが最も多く、次いでマガモ・コガモの順となりこの 3 種でカモ類全体の 81% を占めている。

総数では、昨年 の 87%，一昨年 の 74% しか確認されておらず、特にオナガガモの減少が著しく、豪雪の影響を強く受けたものと考えられる。

以下調査地別の結果について述べる——

(1) 北 潟 湖

湖面の約 60% が雪に覆われており例年より個体数の減少が著しく、特にカルガモにおいては顕著であった。

(2) 福良ヶ池

池面の約 60% が凍結し周囲の積雪も多く、池の間近までは行くことができなかった。

また、カウント前にマガモ約 500 羽十が飛び立ったため近日のデータより少なくなった。オカヨシガモが 9 羽確認されたことは特筆に値する。

(3) 加戸大堤

シャーベット状の雪に水面が覆われておりカモ類は池の奥に密集していたため、カウント、識別に困難を極めた。

トモエガモ・ハシビロガモが確認されたことは、この池の近年の特徴である。

(4) 九頭龍川

積雪は多いが、天候は良く視界も良好であったので調査に支障はなかった。
カルガモ・コガモ・マガモともに昨年より多く総数でも約800羽上回ったことは他の多くの調査地で減少したことと比較して特徴的である。

カワアイサ・ウミアイサは本年も確認された、しかし、オナガガモが見られなかったことが例年と異なった。

(5) 日野川

昨年とほぼ同区間の調査であったが、積雪のためカンジキ装着にて調査を行った区間もあった。

総数では、昨年より相当減っており中でもコガモの減少が著しく、オナガガモも激減した。ミコアイサは本年も確認された。

(6) 猪ヶ池

氷結のため水面が8%程度しかなくカモ類は近くの海水面に入っていて個体数は少なかった。

(7) 久々子湖

湖面の99%までが氷結し浦見川の河尻と早瀬の河口辺の漁船置場付近に水面があり、そこにカモ類は集中していた。

しかし、カモ類は多く昨年より総数で約700羽増えた。また、ホオジロガモ・ウミアイサが確認された。

(8) 日向湖

全面氷結、近年ほとんど渡来しないが、本年は、キンクロハジロが少数確認された。

(9) 水月湖

湖面の広いことと降雪のため菅・日向湖側の対岸はよく観察することができなかった。また、約70%が氷結していた。

総数も昨年の59%であったが、オカヨシガモを確認することができた。

(10) 三方湖

全面が雪に覆われており水月湖よりの空いた水面に少数のカモが生息する

のみであった。

(11) 菅 湖

例年、個体数、種類数ともに多い所であり本県でも有数のカモ類の飛来地であるが、本年は、総数で昨年の約37%に減少しており、これは、シーズン初めより少なかったことと湖面の全面氷結による生息環境の悪化が上げられる。しかし、オンドリは、本年も確認することができた。

(12) 小 浜 湾

調査地唯一の海水面である。

海ガモの外淡水ガモも多く、種類・個体数でも昨年を大きく上回る生息が確認された。

以下調査地別の結果について述べる——

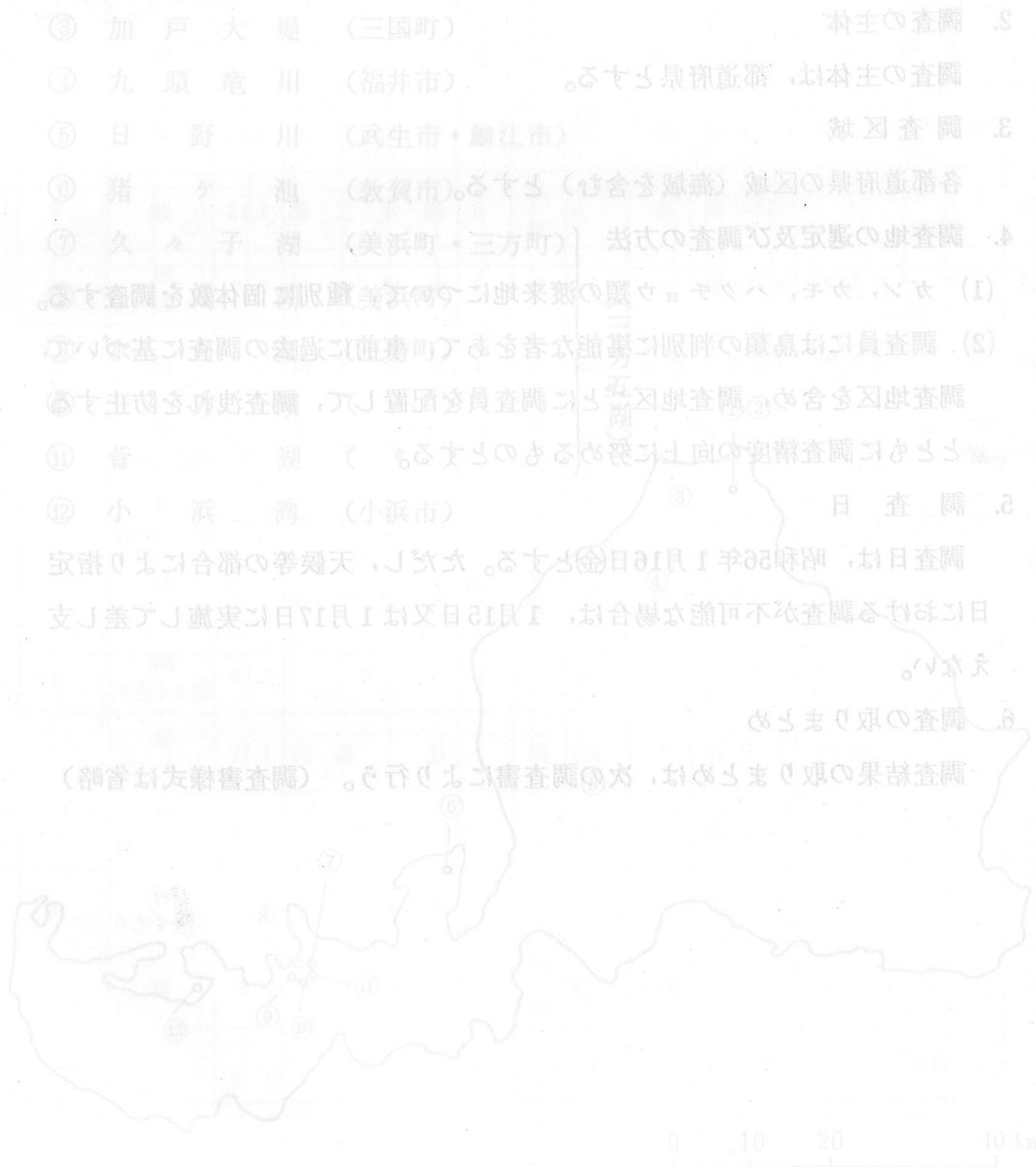
- (1) 本川口
湖面の約60%が雪に覆われており例年より凍結が早く、氷結が著しく、カモ類の飛来数は減少した。オカヨシガモが9羽確認されたことは特筆に値する。
- (2) 福良ヶ池
池面の約60%が凍結し周囲の積雪も多く、池の間近までは行けず、カモ類の飛来数は減少した。オカヨシガモが9羽確認されたことは特筆に値する。
- (3) 加戸大池
湖面の約60%が雪に覆われており例年より凍結が早く、氷結が著しく、カモ類の飛来数は減少した。オカヨシガモが9羽確認されたことは特筆に値する。

3 過去における調査結果の集計

第1図 昭和55年度ガンカモ科鳥類生息調査地

今回の委託調査にあたり、昭和44年度以降県内で実施された調査資料を年度別に集計対比し、参考とした。

(第2表および第3表・第2図参照)



昭和 55 年度ガンカモ科鳥類の生息調査 実施要領

1. 調査の目的

最近におけるガン、カモ、ハクチョウ類の冬期の生息状況をは握し、鳥類保護行政に必要な資料とする。

2. 調査の主体

調査の主体は、都道府県とする。

3. 調査区域

各都道府県の区域（海域を含む）とする。

4. 調査地の選定及び調査の方法

- (1) ガン、カモ、ハクチョウ類の渡来地について、種別に個体数を調査する。
- (2) 調査員には鳥類の判別に堪能な者をあて、事前に過去の調査に基づいて、調査地区を含め、調査地区ごとに調査員を配置して、調査洩れを防止するとともに調査精度の向上に努めるものとする。

5. 調査日

調査日は、昭和56年1月16日(金)とする。ただし、天候等の都合により指定日における調査が不可能な場合は、1月15日又は1月17日に実施して差し支えない。

6. 調査の取りまとめ

調査結果の取りまとめは、次の調査書により行う。（調査書様式は省略）

第1図 昭和55年度ガンカモ科鳥類生息調査地



昭和 55 年度ガンカモ科鳥類の生息調査

実施要領

調査結果の公表と関係機関との連携

第 1 表 昭和 55 年度ガンカモ科の

	調 査 地				調 査 面 積	鳥 獣 保 護 区 等 の 区 分	調 査 人 員	調 査 員 代 表	調 査 月 日	天 候	ガン類 マ ガ ン
	郡 市	町 村	地 名	地 況							
1	坂 井	芦原町	北 潟 湖	湖	ha 230	保	3	北 川 賀 文	1.15	晴	193
2	"	"	福良ヶ池	池	3	銃 禁	3	榎 本 二 郎	1.15	晴	0
3	"	三 国 町	加戸大堤	"	9	保	3	池 崎 和 男	1.15	晴 一 時 雪	10
4	福 井	高 木 町	九頭竜川	河川	307	"	4	吉 村 芳 武	1.18	晴	0
5	武 生 江	瓜生町	日 野 川	"	200	銃 禁	3	上 木 泰 男	1.18	晴 時々くもり	0
6	敦 賀	明神町	猪ヶ池	池	6	"	2	広 瀬 義 雄	1.25	く も り 時 々 雪	0
7	三 方	美浜町	久々子湖	湖	140	保銃 禁	1	田 辺 幹 雄	1.18	晴 時々くもり	0
8	"	"	日 向 湖	"	50		1	"	1.18	晴 時々くもり	0
9	"	三方町	水 月 湖	"	423	保	1	辻 義 次	1.17	雪 一 時 晴	0
10	"	"	三 方 湖	"	358	"	1	"	1.17	雪 一 時 晴	0
11	"	"	菅 湖	"	92	"	1	久保上 宗次郎	1.17	雪 時々くもり	0
12	小 浜	甲ヶ崎	小 浜 湾	海面	650	銃 禁	1	山 崎 芳 昭	1.15	晴	0
	合 計 (12 ケ 所)				2,468		24				203

鳥類の生息調査実施結果表

カ																	
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

第1表

昭和55年度畜産実況調査結果

市	町	村	計	畜産別										畜産別									
				牛	馬	豚	鶏	鴨	鵝	魚	養蚕	養蜂	養蠶	牛	馬	豚	鶏	鴨	鵝	魚	養蚕	養蜂	養蠶
1	坂井	芦原町	215	16	34	1	388	0	0	0	0	0	0	11	388	0	0	0	0	0	0	0	0
2	坂井	高木町	313	1	30	1	388	0	0	0	0	0	0	11	388	0	0	0	0	0	0	0	0
3	坂井	三國町	1,293	2	3	0	388	0	0	0	0	0	0	11	388	0	0	0	0	0	0	0	0
4	坂井	高木町	313	1	30	1	388	0	0	0	0	0	0	11	388	0	0	0	0	0	0	0	0
5	武生	江崎町	1,158	2	3	0	388	0	0	0	0	0	0	11	388	0	0	0	0	0	0	0	0
6	武生	明神町	280	0	0	0	388	0	0	0	0	0	0	11	388	0	0	0	0	0	0	0	0
7	三万	三万町	1,481	8	4	0	388	0	0	0	0	0	0	11	388	0	0	0	0	0	0	0	0
8	三万	三万町	4	0	0	0	388	0	0	0	0	0	0	11	388	0	0	0	0	0	0	0	0
9	三万	三万町	381	1	8	0	388	0	0	0	0	0	0	11	388	0	0	0	0	0	0	0	0
10	三万	三万町	110	0	0	0	388	0	0	0	0	0	0	11	388	0	0	0	0	0	0	0	0
11	三万	三万町	898	0	0	0	388	0	0	0	0	0	0	11	388	0	0	0	0	0	0	0	0
12	小坂	小坂町	1,158	3	0	0	388	0	0	0	0	0	0	11	388	0	0	0	0	0	0	0	0
合計			11,020	44	3	20	388	0	0	0	0	0	0	11	388	0	0	0	0	0	0	0	0

第2表 ガンカモ科鳥類生息調査年度別実施状況

区分 調査年度	調査 箇所	調査 対面 面積 ha	調査 人員	調 査 結 果				備 考
				ガン類 種/羽	カモ類 種/羽	ヘラサギ 種/羽	計 種/羽	
44	6	1,198	22	0	3,063	4	3,067	ヘラサギ 羽生息数 2.5
45	12	2,481	35	1 130	10 4,215	0	11 4,345	1.6
46	12	2,284	42	0 0	14 3,952	0	14 3,952	1.7
47	16	3,400	74	0 0	15 6,682	0	16 6,682	1.9
48	14	2,725	78	1 58	15 12,232	1	17 12,291	4.5
49	11	2,725	59	0 0	15 10,503	0	15 10,503	3.8
50	14	2,677	83	0 0	18 16,800	0	18 16,800	6.2
51	9	1,395	46	1 8	14 6,164	0	15 6,172	4.4
52	9	2,184	33	0 0	18 7,653	0	18 7,653	3.5
53	13	2,273	32	1 30	18 15,276	0	19 15,306	6.7
54	12	2,268	35	0 0	16 12,923	0	16 12,923	5.7
55	12	2,458	21	1 203	18 11,050	0	19 11,253	5.0
計	140	28,078	429	429	110,215	5	110,647	

この資料は、昭和44年度から
昭和55年度までの調査記録を
まとめたものである。

(注) 調査地はいずれも鳥獣保護区である。

第2表 ガンカモ科鳥類生息調査年度別実施状況

区分 調査年度	調査 個所	調査 対面 面積	調査 人員	調 査 結 果				備 考
				ガン類 種／羽	カモ類 種／羽	ハクチョウ 類 種／羽	計 種／羽	
44	ヶ所 6	ha 1,198	人 22	0 / 0	9 / 3,063	1 / 4	10 / 3,067	ヘクタール 当り生息数 2.5
45	12	2,481	35	1 / 130	10 / 4,215	0 / 0	11 / 4,345	1.6
46	12	2,284	42	0 / 0	14 / 3,952	0 / 0	14 / 3,952	1.7
47	16	3,400	74	0 / 0	16 / 6,682	0 / 0	16 / 6,682	1.9
48	14	2,725	78	1 / 58	15 / 12,232	1 / 1	17 / 12,291	4.5
49	11	2,725	59	0 / 0	15 / 10,503	0 / 0	15 / 10,503	3.8
50	14	2,677	83	0 / 0	18 / 16,800	0 / 0	18 / 16,800	6.2
51	9	1,395	46	1 / 8	14 / 6,164	0 / 0	15 / 6,172	4.4
52	9	2,184	33	0 / 0	18 / 7,653	0 / 0	18 / 7,653	3.5
53	13	2,273	32	1 / 30	18 / 15,276	0 / 0	19 / 15,306	6.7
54	12	2,268	35	0 / 0	16 / 12,923	0 / 0	16 / 12,923	5.7
55	12	2,468	21	1 / 203	18 / 11,050	0 / 0	19 / 11,253	5.0
計	140	28,078	560	2 / 429	21 / 110,213	1 / 5	24 / 110,647	

(注) 調査地はいずれも鳥獣保護区等の捕獲規制区域である。

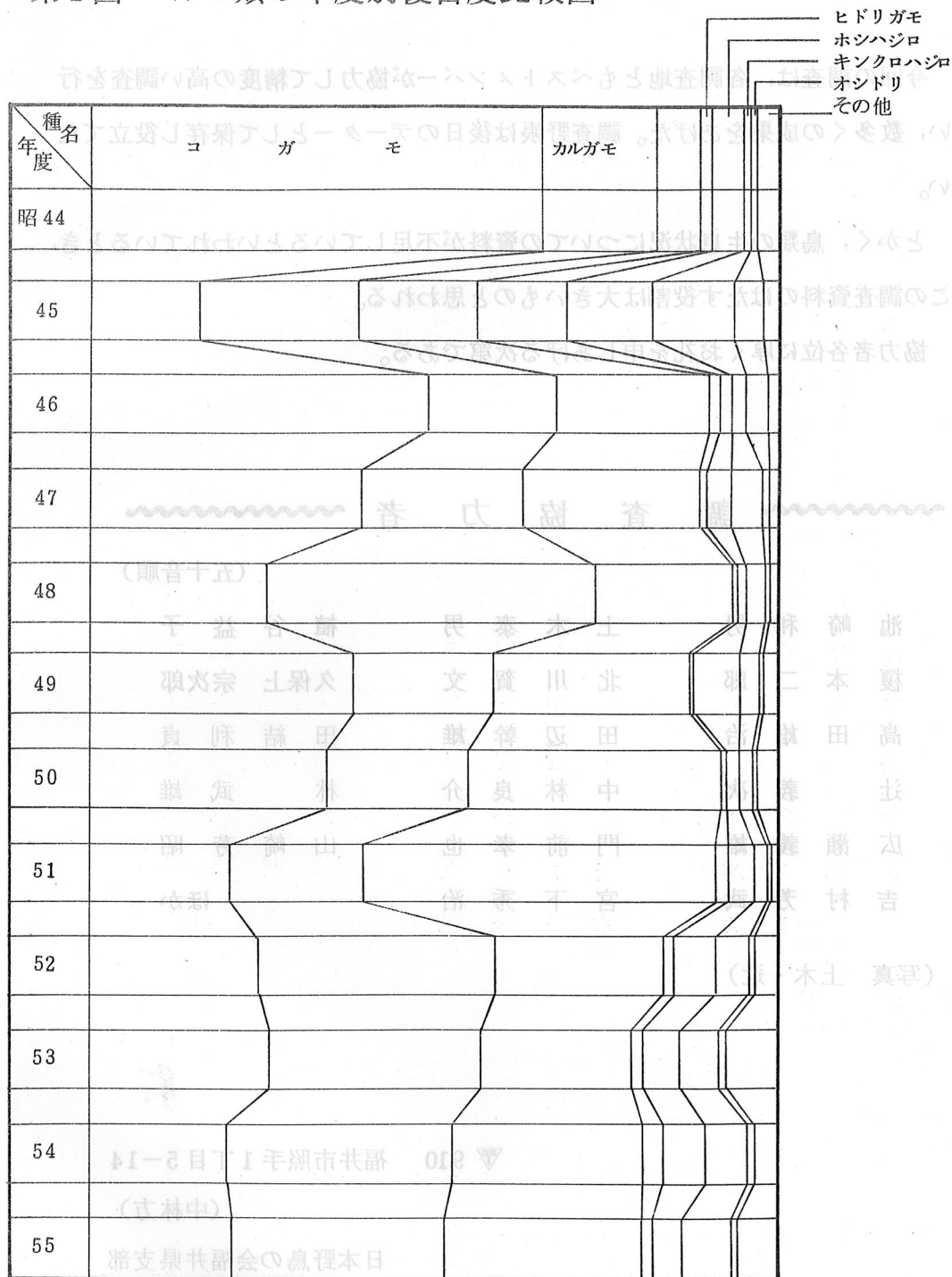
(注) 44年度より毎年記録された種についてのみ種名を記載した。

第3表 ガンカモ科鳥類生息調査年度別合計表

番号	種 名	調 査 年 度													計
		44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55		
1	ガ マ ガ ン	-	130	-	-	-	-	-	8	-	-	-	203	341	
2	ン 不 明 確	-	-	-	-	58	-	-	-	-	30	-	-	88	
	類 計	-	130	-	-	58	-	-	8	-	30	-	203	429	
3	オ シ ド リ	18	168	100	50	51	51	84	33	48	110	65	64	842	
4	マ ガ モ	187	776	915	1,736	2,436	3,033	6,345	3,220	1,887	3,394	3,643	3,226	30,798	
5	カ ル ガ モ	516	980	731	1,625	5,994	2,219	3,573	1,245	2,695	4,930	4,338	3,531	32,377	
6	コ ガ モ	2,012	631	1,923	2,612	3,082	3,989	5,700	1,178	1,845	3,839	2,447	2,186	31,444	
7	トモエガモ	60	-	2	19	25	3	100	1	4	18	9	14	255	
8	カ ヨ シ ガ モ	57	84	19	26	2	5	23	-	13	38	79	75	421	
9	オカヨシガモ	-	-	-	3	-	-	4	-	2	-	-	12	21	
10	ヒドリガモ	37	560	25	49	59	5	110	109	116	374	386	172	2,002	
11	オナガガモ	-	-	1	6	22	24	25	11	15	487	271	8	870	
12	ハシビロガモ	-	-	-	2	3	92	115	5	2	18	5	9	251	
13	モ ホ シ ハ ジ ロ	141	528	27	188	157	751	197	242	458	837	762	455	4,743	
14	キンクロハジロ	35	486	67	312	371	288	263	109	375	925	716	807	4,754	
15	ス ス ガ モ	-	-	-	12	10	-	-	4	98	195	120	387	826	
16	ク ロ ガ モ	-	-	-	-	-	-	-	-	3	6	-	7	16	
17	ホオジロガモ	-	-	1	-	-	5	3	1	47	21	32	24	134	
18	類 ミコアイサ	-	-	19	3	2	22	35	1	36	66	35	44	263	
19	ウミアイサ	-	-	-	-	-	-	6	-	2	4	2	9	23	
20	カワアイサ	-	1	22	9	9	6	2	5	7	11	13	20	106	
21	アカハシハジロ	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
22	アカツクシガモ	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	
23	不 明 確	-	-	100	30	9	10	214	-	-	3	-	4	370	
	計	3,063	4,215	3,952	6,682	12,232	10,503	16,800	6,164	7,653	15,276	12,923	11,054	110,517	
24	ハクチョウ類	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	
	計	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	
	計	3,067	4,345	3,952	6,682	12,291	10,503	16,800	6,172	7,653	15,306	12,923	11,257	110,522	

(注) 各年度毎の調査地、および調査箇所等は一定していない。

第2図 カモ類の年度別優占度比較図



(注) 44年度より毎年記録された種についてのみ種名を記載した。

あ と が き

今回の調査は、各調査地ともベストメンバーが協力して精度の高い調査を行い、数多くの成果をあげた。調査野帳は後日のデーターとして保存し役立てたい。

とにかく、鳥類の生息状況についての資料が不足しているといわれているとき、この調査資料のはたす役割は大きいものと思われる。

協力者各位に厚くお礼を申しあげる次第である。

~~~~~ 調 査 協 力 者 ~~~~~

(五十音順)

池 崎 和 男	上 木 泰 男	植 谷 益 子
榎 本 二 郎	北 川 賀 文	久保上 宗次郎
高 田 雄 治	田 辺 幹 雄	田 結 利 貞
辻 義 次	中 林 良 介	林 武 雄
広 瀬 義 雄	門 前 孝 也	山 崎 芳 昭
吉 村 芳 武	宮 下 秀 治	ほか

(写真 上木・辻)

▽ 910 福井市照手1丁目5-14

(中林方)

日本野鳥の会福井県支部